

# 患者さまへのお知らせ・お願い

## ロビーコンサートのお知らせ

- 10月13日(水) 遠藤美香さん・清水紀子さん(フルート・ピアノ演奏会)
  - 10月18日(月) 泰 樹さん(ピアノ演奏会)
  - 10月28日(木) Radaさん(バイオリン演奏会)
- フルート・オーボエ・クラリネットの演奏も途中加わります。  
中央棟1階会計前ロビーにて、19:00より開催いたします。30分間の演奏会です。是非お越しください。

## 昭和大学公開講座のお知らせ

- 日 時：平成16年10月23日(土) 13:30~16:30  
受付開始時刻は、各講演とも講演開始15分前からとなっております。
  - 場 所：昭和大学横浜市北部病院 西棟4階診療放射線専門学校講堂
  - テーマ：13:30~「物忘れは本当に痴呆の始まりですか? ~アルツハイマー病を中心とした痴呆のお話~」
  - 演者：総合内科 助教授 福井 俊哉  
15:00~「緩和ケアQ&A」  
演者：総合内科 専任講師 坂下 暁子 緩和ケア病棟 師長 澤田 祐子
  - 予定受講者数：100名(各講演ともに)
- ※切は、**10月12日(火)必着**となっております。また当落のご案内はがき(受講票を印刷したはがき)は**10月15日(金)**に郵送させていただき予定です。  
**緩和ケアQ&A**につきましては、若干空席がございますので、10月22日まで聴講の募集をいたします。  
往復はがきに、住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、当院公開講座係りまでご応募ください。  
「物忘れ~」の聴講希望の受付は、10月12日をもちまして終了させていただきます。  
お問い合わせ先：昭和大学横浜市北部病院 管理課内公開講座係り 〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央35-1  
TEL:045-949-7000

# 患者様からのご意見・ご要望

日々患者さまより頂きましたご意見・ご要望に関しては関連する部署の責任者に報告しております。改善すべき点や取り入れたほうが良いことなど出来る限り対応したいと考えております。ご意見の中で特に危険なこと、多くの方が希望していることを優先に対応したいと考えております。もちろん少数意見も対応させて頂いております。

前回に引き続き、今までのご意見の中で多くいただいたものや最近よくいただくご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせください。( =進捗報告)

ご意見・ご要望	改善等
受付時間の表示について	『受付時間の表示が分かりづらいです。パンフレットも8:30~17:00(14:00)と記載があるが、実際は受付時間がほとんど11:00までに来ないと受けられないのであれば、もっと分かりやすいものに変更してください』とのご意見をいただきました。 病院案内にはスペースの都合上代表的な受付時間を記載しておりましたが、次回更新版では分かりやすく工夫させていただきます。受付時間に関しては、ホームページ及び各科受付の掲示板に最新の情報を掲示しておりますのでご利用ください。
IDカードについて	『IDカードの生年月日を消してほしい。高齢者などカードを盗られ、個人情報として使われた時、問題だと感じる。他の病院は載せていない。』とのご意見をいただきました。 当院では同姓同名の患者様を間違いないようお名前だけでなく、生年月日をカードに記載しております。患者様の間違えによる医療事故防止の為にご理解していただきますようお願いいたします。
後発医薬品(ジェネリック)について	ジェネリック医薬品について患者様よりお問合せを頂いております。 ジェネリック医薬品についてはマスコミ等でも取り上げられていることから、皆様方もご存知のことと思いますが、新規開発医薬品の特許期間が過ぎた後、他メーカーが製造した同成分の含量、効能、効果で価格が安いお薬です。 現在当院ではジェネリック医薬品についてはほとんど利用されておりませんが、院内の委員会において採用の検討を進めております。採用に当たっては、安全性、品質、安定供給、処方システムの改良、運用の変更等の様々なことを検討する必要があることから、最終的な対応を行なうまでには時間がかかります。今後ジェネリック医薬品に関する進捗がございましたら、病院だより、掲示物等でご案内させていただきます。個別のお問合せに関しては対応いたしかねますのでご了承ください。

## 編集後記

紅葉の季節となりましたが皆様如何お過ごしでしょうか?  
食欲の秋でもあります、つつい食べ過ぎてしまったなと感じたら、週末には(翌週の食事に備えて?)継続可能な20分以上の運動を行うことが推奨されます。日本人が寝たきりとなる要因の第1位は脳卒中、次いで痴呆あるいは転倒骨折です。特に転倒骨折に関しては運動と食事コントロールにより50%が予防可能です。  
最近の国内データでは平均73歳の方々が半年間の筋肉トレーニングを続けたところ体力年齢は10~15歳若返った。とありますので年齢に関係なく適度な運動を心がけましょう。  
また、30分ウォーキングが可能となれば42.195kmを完走できる?とする書物もあります。日々の生活の中で歩く機会の少ない方はとても多いと思います。ジョギング・マソジは最も手軽なスポーツでありますので42.195km目指してLet's enjoy sports.  
広報委員会 委員 門倉 義幸

北部病院だより 第24号  
平成16年10月1日発行  
発行責任者 田口 進(昭和大学横浜市北部病院長)  
編集責任者 島田 誠(広報委員会 委員長)  
発行 昭和大学横浜市北部病院  
〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央35-1  
電話 045-949-7000(代表)  
URL: http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/  
北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』が参照できます。

# 北部病院だより 第24号

第24号【2004/10/01 発行】

発行者：昭和大学横浜市北部病院

## 巻頭言

『煙(けむ)にまかれるお話』

呼吸器センター 助教授 門倉 光隆

## イベント情報

大腸 c研究会(消化器センター)  
新横浜プリンスホテル

ロビーコンサート

ボランティア活動の紹介

医師の配属・異動・退職

診療統計

外来担当表

患者さまへのお知らせ・お願い

ロビーコンサート日程

公開講座のお知らせ

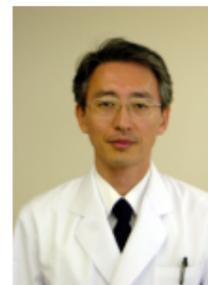
患者様からのご意見・ご要望



皆さんの秋はどの秋ですか? 読書、食欲、スポーツ、芸術・・・?

# 巻頭言

『煙(けむ)にまかれるお話』



呼吸器センター

助教授

門倉 光隆

北部病院開院から丸3年が瞬間に経過し、開院後4回目の夏がアテネオリンピックとともに過ぎて行きました。この原稿を執筆する中、夜になるとあの暑い夏が嘘であったかのような涼しい風とともに公園の草むらからは心地よい虫の音が聞こえ、心が“ホッ”とすると同時に、以前に買い込んで本棚の飾り物となりつつある本達をこの秋の夜長に読破してみようかという意欲に燃える毎日であります。

最近では地域の人口増加とともに高齢者の受診も増加し、呼吸器外科手術を受けられる方の年齢も徐々に上がる傾向を示しております。当呼吸器外科では『原発性肺癌や転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍・自然気胸・胸部外傷・先天性肺疾患など』の手術を行い、さらにやや毛色の異なるところとしては『手掌多汗症の手術』があげられます。自然気胸や手掌多汗症の手術を受ける方は20歳前後が多く、一方、肺癌などは50歳以上の方が中心となりますが、手術対象全体では10歳代から80歳代まで幅広いものとなっております。

その昔、呼吸器外科といえば肺結核に対する肺葉切除や胸郭成形術が代表的な手術でしたが、現在それらに代わり増加の一途である肺癌手術の歴史は比較的浅いといえます。しかし、日本

の肺癌外科治療は世界でもトップクラスの技術と成績を誇り、科学技術の進歩とともにその評価はさらに向上しています。近年、日本でも肺移植手術や、肺気腫の機能回復を目的とした手術を行います。肺癌など多くの手術では肺切除が必要となるため、術前と比較して呼吸機能の低下が避けられません。手術をせずに済むのであればそれに越したことはありませんが、病気を克服して本来の生活を取り戻すためには積極的に対応すべき場合もあります。

人は65歳以上になると医療機関への受診率が急激に増加します。いまや日常生活の中には発癌性物質が氾濫し、75歳までの間に男性の50%、女性の30%が何らかの癌にかかるかとされています。悪性腫瘍が日本人の死因第1位になって約20年が過ぎ、中でも肺癌による死亡の増加は著しく、男性においては癌による死亡率の第1位に肺癌が浮上してから既に数年が経過しています。その傾向はさらに強く、女性でも同様に増加傾向がみられています。

日本人の喫煙率は男性が約50%、女性が約20%とされ、若年女性ではさらに高い傾向にあります。最近では電車の中吊広告やテレビのCMでJT(日本たばこ産業)から「あなたが気づけばマナーはかわる」など、タバコの害やマナーに関するものが出されていますが、「今頃になって、やっと・・・!」という感否めません。タバコの愛好家ですら他人の煙を嫌う傾向にありますが、いざ自分がタバコを吸うとなると、後ろを歩く人や隣に座った人のことが気にならない方も居られるようです。「タバコは歩くアクセサリー」などともいわれますが、“路上の喫煙禁止やポイ捨て禁止運動”さらに“歩きタバコ禁止条例の制定”などが全国各地で進められています。そのためどうかは判りませんが、市営地下鉄「センター南駅」を出て直ぐタバコに火をつけて歩きだす人も減ったように思われます。

肺癌の発生原因としてタバコは勿論のこと、環境汚染物質など様々な因子の関与が指摘されていますが、女性喫煙者の増加や未成年からの喫煙開始によってこのまま肺癌患者が増加すれば、われわれ呼吸器外科医は暇になるどころかさらに忙しくなるものと思われれます。この「病院だより」の前々号(第22号)では『禁煙のすすめ』と題して巻頭言が掲載され、さらに本号で追い討ちをかけるように「けむり」の話では愛煙家の耳にタコができそうで申し訳ありませんが、これから先、タバコの販売本数が激減するなどは予想もできず、「タバコを吸う光景を目にするのはめずらしくなった。」などと言える日を夢みながら、次号にバトンタッチ。

# 北部イベント

## 大腸IIc研究会(消化器センター)

## 新横浜プリンスホテル

本院消化器センター長 工藤進英教授が代表世話人を務める大腸IIc研究会は、今年で14回目をむかえ、新横浜プリンスホテルを会場に、9月18(土) 19(日)日の2日間にわたって開催されました。1日目前半は、例年のごとく、当院内視鏡センターと中継でのライブデモンストレーションで、イギリスのChristopher Williams先生や工藤教授自身など、5人のエキスパートによる、最新の大腸内視鏡検査・治療手技が披露されました。1日目後半と2日目は、ワシントン大学のAndrew Feld先生や福岡大学筑紫病院の八尾恒良教授など第一人者による講演7題と、多数の一般演題を通じて、活発な討議が交わされ、最後には日本消化器内視鏡学会 丹羽寛文理事長から総括発言がなされました。

この研究会は世界的にも注目され、ここでの討議の内容が国際会議でも取り上げられ、2003年末に完成した「消化器腫瘍のバリ分類」の基礎となりました。また、アメリカでのNational Polyp Studyプロジェクトに大腸IIc病変や表面型腫瘍が取り上げられることになったのも、この研究会の成果のひとつで、その縁で今回Feld先生が出席されることになった訳です。今後ますますの発展が期待されます。



プリンスホテルから見たライブデモンストレーションの様子。司会は久留米大学の鶴田修助教授と本院の櫻田博史助教授



ライブデモンストレーション中のWilliams先生と工藤教授



一般演題中の聴衆と病理コメンターの先生方

## ロビーコンサート

## 中央棟1階 会計前ロビー

8月30日山本愛さんによるコーラス・ピアノ演奏会、9月6日に泰樹さんによるピアノ演奏会、9月17日に道志郎さんによるピアノ演奏会、9月22日には矢島孝子さんによるバイオリン演奏会とたくさんのお演奏会がありました。

演奏会の回数も増え、ピアノ演奏会に限らずさまざまな楽器(コーラスも含めて)を使用している演奏会となっており、毎回演奏会にお越しになられている方も楽しんでいただけているように思われます。また、最近では演奏会の終了後に、演奏会に来られた患者さまと演奏してくださった方と談話される光景が見られるようになってきました。ロビーコンサートを開始した当初には幾分演奏者と聴衆者というような堅さがありましたが、今ではより柔らかな感じの演奏会となってきております。今月も3回の演奏会開催予定が入っております。(第4面に演奏会予定表記載) 演奏会終了時に是非お気軽に感想などをお聞かせください。



## ボランティア活動の紹介

8月31日に日頃の病院でのご活躍に感謝の意をこめまして懇話会を開きました。日頃の活動の中で感じていらっしゃることやボランティアさんがお聞きした患者さまの声を直接伺うことが出来、病院長をはじめ一同親睦の深められた機会でありました。

そして、8月より病棟ボランティア活動を拡大し、西棟3階に加え、中央棟4階B病棟(小児病棟)での活動を開始いたしました。病棟内で少しでもお役に立てるようボランティアの皆さん桃色のエプロンで頑張ってください。どうぞよろしくお願いたします。

また、小児病棟で活動している山田絢子さんより『中秋の名月』をテーマに作成した水引作品のプレゼントがありました。白と桃色の可愛いウサギが病棟入口を和ませてくれています。



## 医師の配属・異動・退職

### 新規配属医師 10/1付【9/2~10/1】

芦田 和博 (循環器センター)

防衛医科大学 平成9年度卒

松村 卓美 (皮膚科)

昭和大学 平成14年度卒

### 異動医師 9/30付【9/1~9/30】

内田 雅士 (麻酔科) 藤が丘リハビリテーション病院 麻酔科へ

### 退職医師

長谷川 守 (麻酔科) 三浦 久美子 (皮膚科)

福司山 洋美 (外科) 鈴木 俊一 (泌尿器科)

### 9/30付【9/1~9/30】

## 診療統計

2004年8月統計データ ( )内は1日平均

外来患者数 27,922人(1073.9人)、入院患者数 18,053人(582.4人)、救急車搬送件数 339人(10.9人)、手術件数 432件(19.6件)

# 外来担当表

外来予定は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

平成16年10月1日改訂

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
呼吸器センター	門倉光隆(初再診)		鹿間裕介(再診)	大塚寿々子(初診)	医局員(初診)	医局員(初診)	鹿間裕介(初再診)	神尾義人(再診)	門倉光隆(再診)	栗生和幸(初診)	医局員(初診)
	笠原慶太(初再診)	笠原慶太(初診)	松田正典(初診)		中神和清(再診)		笠原慶太(初再診)	笠原慶太(初再診)	笠原慶太(初再診)	大塚寿々子(再診)	
	北見明彦(再)		中島宏昭(初)				松田正典(再)	中島宏昭(再)	中島宏昭(再)		
消化器センター	佐々木廣仁(再診)	佐々木廣仁(再診)	田中淳一(再診)	大塚和朗(再診)							
	竹内 司(再診)	竹内 司(再診)	加藤博久(再診)	辰川貴志子(再診)							
	春日井尚(再診)	春日井尚(再診)	櫻田博史(再診)	大前芳男(再診)							
	山村冬彦(再診)	山村冬彦(再診)	工藤進英(再診)		石田文生(再診)	小鷹紀子(再診)	石田文生(再診)	小鷹紀子(再診)	石田文生(再診)	小鷹紀子(再診)	石田文生(再診)
					岩下方彰(偶)			工藤進英(特殊診)			
循環器センター	緒方信博		落合正彦		小原千明	丸田一人	荒木 浩		岡林宏明	加藤源太郎	医局員
精神神経科(初診)	工藤行夫		吉益晴夫		松丸憲太郎	西岡玄太郎	秋元洋一		野崎伸次		西岡玄太郎
精神神経科(再診)	池澤		秋元洋一		野崎伸次		吉益晴夫		工藤行夫		松丸憲太郎
精神神経科(再予)	伊川太郎		鄭 英徹		岡田伸夫		石渡康宏		青山 洋		小城幸乃
精神神経科(再予)			医局員		医局員		松丸憲太郎(物忘れ外来)		医局員		古田伸夫(物忘れ外来)
緩和ケア 車前予約のみ											中村明央
内科(23-2)		大野恭史(一般内科)			菊嶋修示(循環器不整脈)	菊嶋修示(循環器不整脈)			菊嶋修示(循環器不整脈)		菊嶋修示(循環器不整脈)
内科(23-3)	衣笠えり子(内科腎臓)	高橋 健(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)		衣笠えり子(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	坂下暁子(内科血液)	坂下暁子(内科血液)	大野恭史(一般内科)	川崎仁志(内科神経)	医局員
内科(23-5)	坂下暁子(内科血液)	坂下暁子(内科血液)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	三代川章雄(内科消化器)	三代川章雄(内科消化器)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	三代川章雄(内科消化器)
内科(25-1)	井上幸治(内科神経)		中山文義(腎)(第1火休診)		井上幸治(内科神経)				井上幸治(内科神経)		
内科(25-2)		渡邊浩之(一般内科)		渡邊浩之(一般内科)	木村 聡(内科・感染症)						渡邊浩之(一般内科)
内科(25-3)	田口 進(内科消化器)		田口 進(内科消化器)	田口 進(内科消化器)			田口 進(内科消化器)	田口 進(内科消化器)	田口 進(内科消化器)		
内科(25-5)	荻原 徹(糖尿病、内分泌)		嶋田 顕(内科腫瘍)	嶋田 顕(内科腫瘍)	荻原 徹(糖尿病、内分泌)	荻原 徹(糖尿病、内分泌)	嶋田 顕(内科腫瘍)				
内科(25-6)		三上哲弥(内科消化器)	三上哲弥(内科消化器)	三上哲弥(内科消化器)	山本真寛(一般内科)	山本真寛(一般内科)	緒方浩顕(内科腎臓)	緒方浩顕(内科腎臓)	三上哲弥(内科消化器)	三上哲弥(内科消化器)	緒方浩顕(内科腎臓)
内科(25-7)		辻 正富(糖尿病、内分泌)	辻 正富(糖尿病、内分泌)	辻 正富(糖尿病、内分泌)	伊藤英利(内科腎臓)	伊藤英利(内科腎臓)	辻 正富(糖尿病、内分泌)				
小児科	野中善治	神経外来 予防接種	梅田 陽	乳児検診 7月-7月 外来	北澤重孝	心臓外来 腎臓外来	野中善治	成育外来 アルルキ-外来	梅田 陽	乳児検診 7月-7月 外来	医局員
小児科	曾我恭司		曾我恭司		梅田 陽		曾我恭司		京田学晃		医局員
小児科	高野忠将		野中善治		京田学晃	心理相談	松岡 孝	心理相談	高野忠将		医局員
小児外科		杉山彰英		大橋祐介		五味 明		大橋祐介		五味 明	杉山彰英(奇) 真田 裕(偶)
皮膚科(初16-3)	宋 寅傑		濱口太造		島田洋子		濱口太造		宋 寅傑		島田洋子
皮膚科(再16-1)	濱口太造	松村卓美	宋 寅傑	濱口太造	濱口太造	松村卓美	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子
皮膚科(再16-2)	松村卓美	外科手術	佐々木雅美	外来手術	佐々木雅美	外科手術	松村卓美	外来手術	佐々木雅美	外来手術	
外科	中村明央		新井一成		新井一成		新井一成		中村明央		中村明央(奇) 新井一成(偶)
外科					山崎智己		福成信博(第1木)	井関雅一(偶)	成原健太郎	岩波正英(偶)	黒井・山崎(偶土のみ)
形成外科	大塚尚治				大塚尚治				大橋正和		大塚(奇) 大橋(偶)
脳神経外科(初再診)	池田尚人	(診断書外来)	池田尚人		広田暢夫	退院後外来	畑山和己		広田暢夫		広田暢夫(奇) 畑山和己(偶)
脳神経外科(再診)	畑山和己 予約のみ		池田尚人		池田尚人		広田暢夫		池田尚人		池田尚人
整形外科	医局員(初診外来)	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	医局員
整形外科	松久孝行	ギプス診 予約のみ	山村拓也		松久孝行	ギプス診 予約のみ	山村拓也		山藤 賢		医局員
整形外科	川崎恵吉		齋藤 元		山藤 賢		川崎恵吉		齋藤 元		
産婦人科 初診(12-7)	鈴木紀雄(奇) 安藤直子(偶)		高橋 諄(中山 健)		高橋 諄(宮本真豪)		小塚和人(近藤哲郎)		小川公一		医局員
産婦人科 産科(12-1)	近藤哲郎		小川公一		栗城亜具里		安藤直子		鈴木紀雄		
産婦人科 産科(12-6)	高橋 諄 中山 健				特殊診 予約のみ		宮本真豪				特殊診 予約のみ
産婦人科 産科(12-8)	小川公一		鈴木紀雄		特殊診 予約のみ		高橋 諄		安藤直子		特殊診 予約のみ
産婦人科 産科(12-6)			中山 健		宮本真豪				栗城亜具里		
泌尿器科(初診11-1)	佐々木春明	椎木(検査) 予約のみ	椎木一彦		深澤 立	深澤(検査) 予約のみ	青木慶一郎		島田 誠	菅原 草(再診)	
泌尿器科(再診11-3)	島田 誠	島田(女性外来) 予約のみ	深澤 立		青木慶一郎	青木(検査) 予約のみ	椎木一彦	鈴木俊一	佐々木春明	佐々木春明(男性外来予約)	医局員(初再診)
泌尿器科(検査11-5)		特殊検査 予約のみ		特殊検査 予約のみ		特殊検査 予約のみ		特殊検査 予約のみ		特殊検査 予約のみ	
眼科	玉井裕子	特殊診(玉井)	小池正直	特殊診(紀平)	紀平弥生		小池正直	特殊診(小池)	紀平弥生		小池正直(奇) 紀平弥生(偶)
眼科	中村 徹		中村 徹	特殊診(中村)	玉井裕子		紀平弥生	特殊診(紀平)	玉井裕子		玉井裕子(奇) 岡田法子(偶)
眼科	岡田紀子	岡田紀子	岡田紀子	岡田紀子			岡田紀子	特殊診(岡田)	中村 徹	中村 徹	中村 徹(偶)
耳鼻咽喉科 13-2	門倉義幸(初診)	腫瘍科外来 予約のみ	池田尚弘(初診)		医局員(初診)	東洋医学外来 予約のみ	柳/徳丸(初診)		医局員(初診)	歯科装具 予約のみ	医局員(初診)
耳鼻咽喉科 13-2	徳丸岳志(再診)		油井健史(再診)	レザ-外来 予約のみ			門倉義幸(再診)	いびき外来 予約のみ			
耳鼻咽喉科 13-3	柳裕一郎(再診)	めまい外来 予約のみ	柳裕一郎(再診)				池田尚弘(再診)				
耳鼻咽喉科 13-5					小児外来 予約のみ		補聴器外来K 予約のみ		補聴器外来N 予約のみ		

放射線治療の外来日は、月火木金： 馳澤憲二です。